

南三陸に眠っていた化石

～フン化石編～

フン化石に迫る!

これが
フン化石
です

海中で置き去りにされた

食の痕跡



神割崎露頭 (大沢層)



フン化石

2025 **1.16** [18:30開場]
(木) 19:00-20:30

参加費

入場無料

会場

南三陸町生涯学習センター
(第一研修室)

「化石」と聞いて一番初めに想像するものは何でしょうか？

多くの方はまず「骨」が浮かび上がるかもしれませんが、今回の題材は骨でも恐竜でもない「フン(糞)化石」です。大小様々なサイズに、楕円状から螺旋状を描くものまで見つかっており、そして、その全てが骨化石とは異なる情報源になり得ます。

約2.5億年前の南三陸町、その海中で置き去りにされた食の痕跡であるフン化石。今回はそこから判明した生き物の多様性をご紹介しますと思います。

講師

菊池 優

一般社団法人南三陸町観光協会
地域おこし協力隊

神奈川県出身。東京都市大学大学院古生物学研究室 修士課程修了。現在は地域おこし協力隊として南三陸町観光協会に所属。化石の観光コンテンツ化を目指し、その認知度向上や整備推進を図る。

